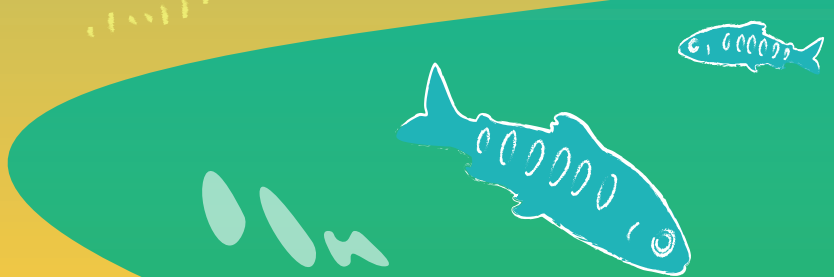
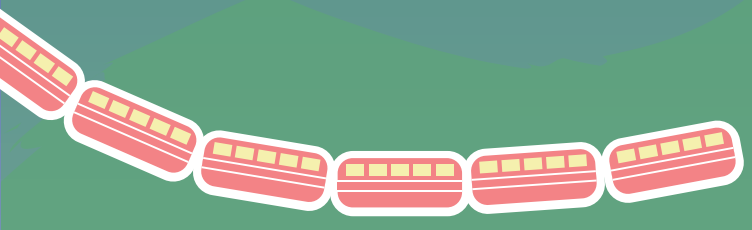


第2期川根本町観光戦略プラン



目次

第1章	計画策定の趣旨	1
1	計画策定の背景と目的	1
2	計画の位置づけ	2
3	計画期間	2
4	計画策定の経緯	3
第2章	観光に関する現状と課題	4
1	川根本町の概要	4
2	川根本町の現状	5
3	当町を取り巻く観光の状況	12
4	各種調査等からみた川根本町の課題	14
第3章	計画の基本的な考え方	15
1	将来像	15
2	目標値	16
3	計画の基本方針	17
4	施策の体系図	18
第4章	重点的に取り組む施策	19
1	訴求すべき観光イメージの確立	19
2	観光・宿泊拠点のイメージアップ	19
3	多種多様な観光商品やイベントの展開	19
第5章	具体的な施策の展開	20
1	訴求すべき観光イメージの確立	20
2	観光・宿泊拠点のイメージアップ	21
3	多種多様な観光商品の展開	23
4	持続可能な観光地運営	25
5	地域のブランド創造の促進	26
6	多彩な人材の発掘と育成	27
7	ホスピタリティ（おもてなしの気持ち）のしくみづくり	28
8	効果的なプロモーション	29
9	情報提供体制の整備	31
10	景観形成と景観修景	32
11	道路環境の整備	33
12	交通環境の整備	34
13	観光施策推進に向けた連携体制づくり	35

第6章	観光地エリア景観計画	37
1	計画の概要	37
2	体系図	38
3	エリア別施策「寸又峡温泉地区」	39
4	エリア別施策「千頭周辺地区」	42
5	エリア別施策「久野脇・塩郷地区」	45
6	エリア別施策「接岨地区」	48
7	エリア別施策「尾呂久保地区」	50
第7章	推進体制	52
1	計画の推進体制	52
2	進行管理	52
3	災害時・緊急時の対応	52



昨今の観光産業は、パンデミックや自然災害の猛威に晒され、これまでにない程の打撃を受けることとなりました。更に、従前からの課題でもある人口減少や少子高齢化の進行による後継者不足やサービスの維持困難等の問題に直面しています。

また、旅行形態は少人数又は個人客にシフトする傾向にあり、ニーズの多様化等に対応できる観光地を築き上げていく必要があります。

当町には川根茶、温泉、つり橋、SL等数多くの観光資源がありますが、資源がたくさんあるだけでは観光交流人口を維持継続できないと考えています。



そのため、これからの観光の方向性を定める指針として観光戦略プランを策定し、地域とともに取り組んでいけるような体制を早急に築き上げていく必要があります。

特に、アウトドアへのニーズの高まりは顕著であり、良質な温泉や美しい星空、健康的な食事の提供等、数ある観光資源や魅力ある商品等を面的に結び付け、何度も訪れたいくなる地域として集客力を高めていくことが肝要です。

また、デジタル化やインバウンドへの対応を積極的に行っていくことは、これからの観光には必要不可欠なことであると感じています。

今後、観光を切り口として、多くの人々を当町に誘客し、そこから地域産業の活力をいち早く取り戻していきたいと考えています。

最後に、本計画策定にあたり、各種調査等にご協力いただいた全ての皆様に感謝の意を表します。

令和5年7月

川根本町長 菫 田 靖 邦



1 計画策定の背景と目的

当町は、本州唯一の原生自然環境保全地域や南アルプス国立公園、奥大井県立自然公園に指定され、近年、町域全体が南アルプスユネスコエコパークに認定されるなど、世界的にも認められる壮大な自然環境を有しています。森は水を育み、川となって海へと流れ、雲となって再び山々に戻ります。この水の循環により、歴史とともに様々な産業が生まれ、銘茶として名高い川根茶や寸又峡・接岨峡をはじめとする良好な泉質を誇る温泉地が形成され、大井川や深い渓谷沿いを走る大井川鐵道のSL、日本唯一のアプト式鉄道である南アルプスあぶとラインは、かけがえのない町の風景の一部となって溶け込んでいます。そして、寸又峡の夢のつり橋や接岨峡の奥大井湖上駅は、様々なメディアに取り上げられるほか、SNS等の投稿によって、絶景スポットとして人気が高まっています。

また、近年ではパンデミックの影響等により、自然の中で楽しむことができるアクティビティへの関心が高まることで、四季折々の自然を満喫することができるキャンプ場やトレイルコースには多くの人々が訪れています。しかし、美しく雄大な自然環境の中にある観光資源は、地震や台風等の自然災害によって利用や機能が停止し、観光交流客の著しい減少を招く恐れがあります。

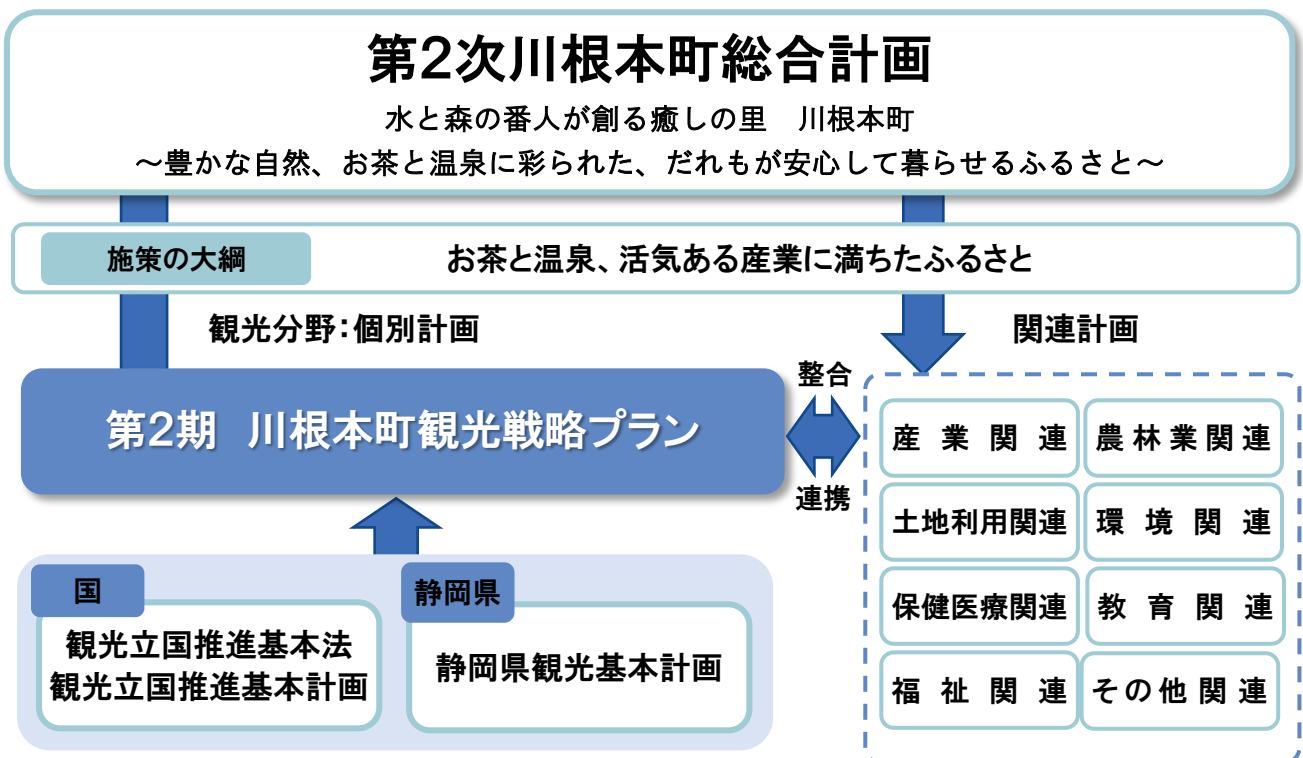
また、進行する過疎化の影響により観光サービスの維持継続や誘客力の低迷も懸念されています。そのような中、前期計画では町のイメージアップと確立、多様なニーズに対応した観光施策の展開等を中心に推進してきましたが、急速に進展するデジタル化や人口減少等に加え、パンデミックや災害等の有事の際にも柔軟に対応できるような、強く、そして魅力ある観光地づくりを推進していく必要があります。

これらの背景をもとに、「第2次川根本町総合計画」の観光分野における具体的な指針として「第2期川根本町観光戦略プラン」を策定し、戦略的な観光施策の展開を図ることで交流人口拡大と地域活性化を目指します。

2 計画の位置づけ

本計画は、「第2次川根本町総合計画」の観光分野の個別計画として位置づけられます。

また、国や静岡県 of 観光に関わる計画及び町の観光地エリア景観計画をはじめとする関連計画との整合性を図り、当町の観光施策の具体的な行動指針とします。当町の行政のみでなく、事業所や町民、大井川流域自治体等と連携し、観光戦略プランを共有・実施します。



3 計画期間

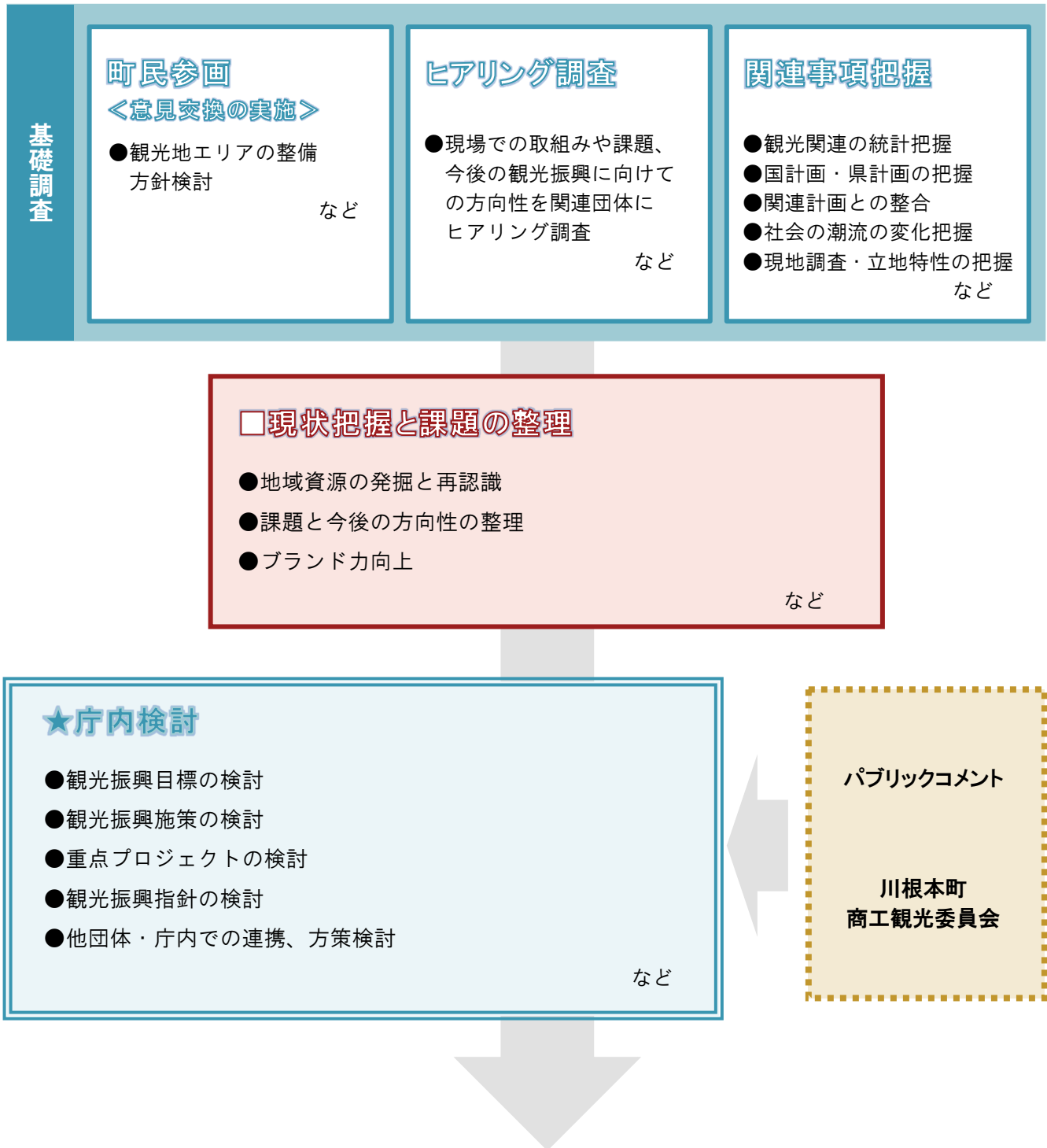
本計画は令和5年度を初年度とし、令和9年度までの5年間の計画とします。

また、社会・経済・自然環境の変化等の観光を取り巻く状況の変化により、計画の見直しが必要になった場合は、「川根本町総合計画」をはじめとする町関連計画と整合性を取りながら、見直すこととします。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
前期計画								
		第2期 川根本町観光戦略プラン						
						見直し	次期計画	

4 計画策定の経緯

本計画の策定までの経緯は以下のとおりです。町民や町内事業所の意見等も反映に努め、川根本町商工観光委員会での審議も踏まえ策定しています。



第2期 川根本町観光戦略プラン

1 川根本町の概要

①位置・地勢

当町は静岡県中央部に位置し、東は静岡市、西に浜松市、南は島田市に隣接し、北は長野県との県境となっています。当町は東西約23km、南北約40kmと南北に細長く、面積は496.72km²となっています。そのうち、集落は東西約15km、南北約20kmの範囲に点在していて、町の面積の約94%が森林という自然豊かな環境となっています。

また、東西の境界は700～2,600mの山々で遮られており、町の中心を南北に流れる大井川と寸又川等の支流に沿って、美しい渓谷が築かれています。なお、当町の最北部、光岳の南西側の一帯は、全国で5箇所、本州では唯一の原生自然環境保全地域に指定され、人の活動に影響されることなく原生の状態を維持している大変貴重な自然環境となっています。

②歴史・沿革

当町には、旧石器時代(約3～4万年前)から人が住み始めたこととされ、町内では縄文時代(約1万年～2,500年前)の遺跡が数多く発見されています。

また、江戸時代以前には、大井川右岸は遠江国に、左岸は駿河国に属していて、明治4年の廃藩置県により、遠江国は浜松県に駿河国は静岡県の管下となり、明治9年に浜松県が廃止されるまで、属する令制国や県が違っていた時代がありました。

さらに、明治22年の町村制により、榛原郡に藤川・水川・上長尾・下長尾・久野脇の5カ村が合併した中川根村と、崎平・千頭・奥泉・犬間の4カ村が合併した上川根村が、志太郡に堀之内・田野口・壺町河内・下泉・地名の5カ村が合併した徳山村と、上岸・青部・田代・藤川・桑野山・梅地の6カ村が合併した東川根村が誕生しました。

続いて、昭和31年9月、中川根村に徳山村を編入して新しい中川根村が生まれ、一方、上川根村と東川根村が合併して本川根町が誕生しました。なお、昭和32年3月には、本川根町文沢地区を中川根村に編入しています。

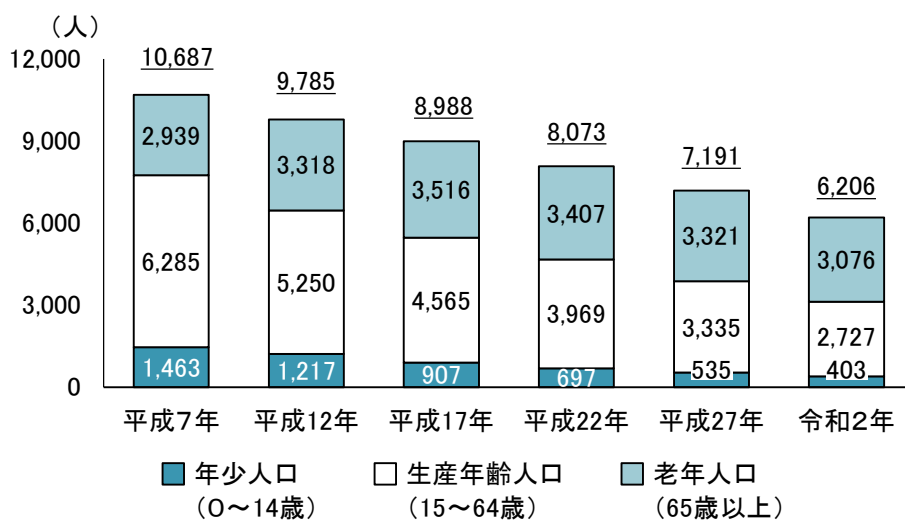
その後、中川根村は昭和37年4月に町制を施行し、中川根町となり、平成17年9月、平成の大合併により中川根町と本川根町が合併し、川根本町が誕生、現在に至っています。なお、当町はかつて、稲作や木材・木炭製造、椎茸栽培などが主産業で、茶の栽培は近世初期から始まり、明治以降は輸出産業として高い評価を受けていた時期もありました。

また、明治末からはダム建設が始まり、大正・昭和には発電所の建設が進み、昭和6年12月には大井川鐵道が全線開通しました。また、高度経済成長期には工場誘致と寸又峡温泉などを中心とした観光の取り組みが進められ、昭和40年頃からは、道路や橋などのインフラ整備や公共施設の整備とあわせて、観光の拠点施設の整備が行われました。

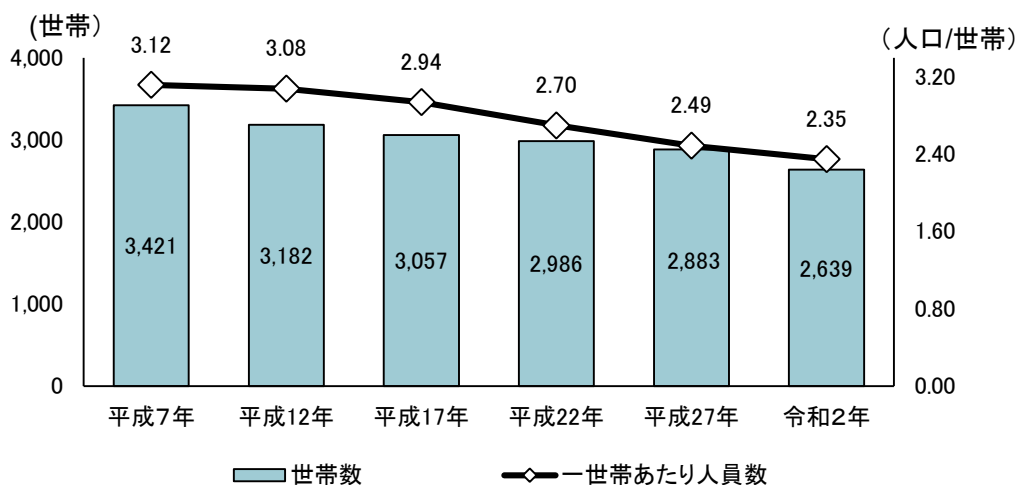
2 川根本町の現状

①人口・世帯

当町の人口は、平成7年の国勢調査時には10,000人を超えていましたが、年間平均180人程度減少し、令和2年の国勢調査では、6,206人となっています。なかでも、年少人口(0歳～14歳)と生産年齢人口(15歳～64歳)の減少は深刻であり、今後町内のあらゆる分野における担い手不足の解消を図る必要があります。

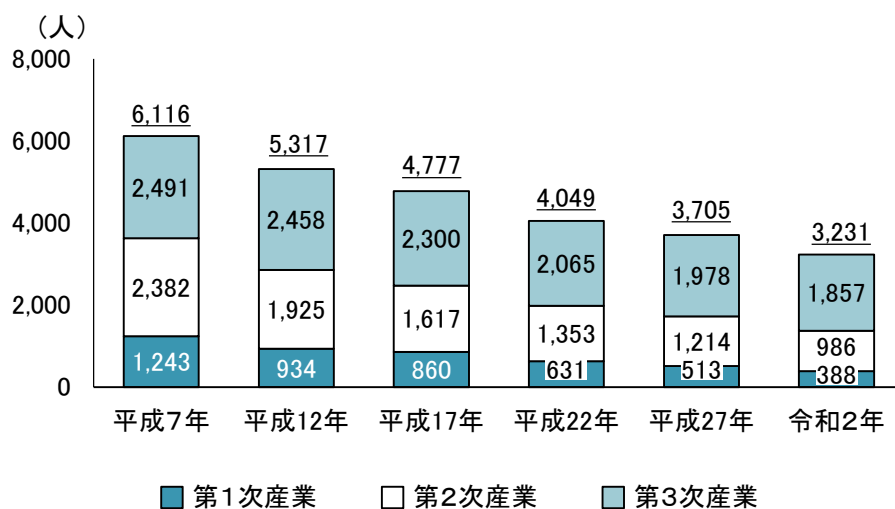


当町の世帯数は、平成7年には3,421世帯ありましたが、令和2年には2,639世帯に減少しています。また、一世帯あたりの人員数も減少していますが、これは高齢者のみの世帯や一人暮らし高齢者をはじめとする単身世帯が増加している影響と思われます。



②産業(産業別就業者数)

当町の産業別就業者数は、第1次産業、第2次産業、第3次産業のすべての産業で減少しています。今後は観光に関わる第3次産業の活性化だけではなく、産業の分野を越えた連携による新たな地域資源の創出のため、6次産業化の推進も必要になります。



出典：国勢調査

③公共交通基盤

【道路】

当町の主な路線として、国道362号と国道473号、寸又峡への主要地方道川根寸又峡線、接岨峡への県道接岨峡線があります。国道473号と県道は大井川に沿って島田市へ向かって南に伸び、国道362号が東西を結んでいます。さらに、北部の静岡市葵区井川へは静岡市道閑蔵線で繋がっています。なお、川根寸又峡線の奥泉から寸又峡までの区間は、すれ違いが困難な幅員の狭い箇所があり、行楽シーズンには通行の障害や渋滞が発生するなど地域交通への支障が生じています。そのため、バイパス等の道路改良整備による早期解決が待ち望まれています。

また、当町周辺では、富士山静岡空港や、新東名高速道路の島田金谷IC、金谷御前崎連絡道路が整備され、県外・海外からの島田市方面を經由した当町へのアクセスも大幅に改善されています。

【鉄道】

鉄道は、JR金谷駅と井川駅を結ぶ大井川鐵道があり、町内には19の駅が存在します。所要時間は、金谷駅から千頭駅までが約70分となっています。また、当町の観光を支える資源として、新金谷駅から千頭駅間にはSLが運行しており、千頭駅から井川駅間は南アルプスあぶとラインが運行しています。そのうちアプトいちしろ駅と長島ダム駅の間には、国内唯一のアプト式の区間があります。

【バス】

バス路線としては、千頭駅と閑蔵駅の閑蔵接岨方面を結ぶ大井川鐵道の路線バスや、町内各集落を結ぶ町営バスとして、千頭駅～役場前間、千頭駅～久野脇間、役場前～久野脇・原山製茶工場前間、千頭駅前～寸又峡温泉間の4路線が運行されています。

④祭り、イベント・温泉・特産品・レジャー施設

【祭り・イベント】

4月	●徳山桜まつり(徳山のしだれ桜) 県立川根高校と町営サッカー場の間に、約50本の枝垂(しだれ)桜が植えられた並木道は、長さ150m。つぼみの頃から満開の時期まで、地元の人々はもちろん、遠方からの花見客で賑わいます。川根高校郷土芸能部による赤石太鼓演奏、川根高校プラスバンド演奏、手もみ茶実演、野点、ミニSL運転、空手演武、各種踊り、カラオケなどの催しが行われます。
	●川根茶の日イベント 立春から七十七夜目に当たる4月21日を『川根茶の日』に制定し、川根茶に親しむ「川根茶の日イベント」をフォーレなかかわね茶茗館等を会場に開催します。煎れたての川根茶を無料で味わえる「川根茶接待」、飲み比べてお茶の銘柄を当てる「闘茶会体験」をはじめ、「川根茶手揉み体験」、「川根茶料理試食」、「茶餅つき体験」など、川根茶に関する体験コーナーが賑わいを見せます。
7月	●南アルプス寸又峡口山開き 奥大井の大自然を舞台に本格的な登山やトレッキングのシーズンを迎えます。
	●平谷の流したい【町指定無形民俗文化財】 毎年7月14日の夕方、青竹と麦わらを束ねて大きな松明(たいまつ)を立てて川に流し、水難者の霊を弔う行事であり、平谷地区だけに残る風習です。
8月	●徳山の盆踊【国指定重要無形民俗文化財】【ユネスコ無形文化遺産】 徳山の浅間神社では、毎年8月15日の夜、鹿ん舞、ヒーヤイ踊り、狂言が行われます。農作物を荒らす獣を追い払い、五穀豊穡を願って始められた鹿ん舞と、引き続いて演じられる平安貴族の舞がルーツで、どことなく気品と優雅さのある盆踊りが行われます。
	●百八たい 毎年8月16日に下長尾地区大井川河川敷で行われる、盆の送り火です。下長尾地区で昔から行われてきた儀式で、起源は川施餓鬼(かわせがき。水死人の霊を弔うための供養)であったとも伝えられています。

9月	<p>●田代神楽【県指定無形民俗文化財】</p> <p>川根本町田代地区の大井神社に伝わる神楽です。言い伝えによると1189(文治5)年、成元成善(なりもととなりよし)、成近(なりちか)の兄弟がこの地に村を開き、大井川河畔の杉の根元に大井神社を建立し、成善が神職につき神楽を奉納したと伝えられています。</p>
	<p>●地名の平 案山子(かかし)コンテスト</p> <p>2年に一度9月末から10月末日まで、地名地区の住民が、秋の豊作に感謝し、地名区民のふれ合いと助け合い、そして健康に良いとされる笑いを目的として開催しています。</p>
10月	<p>●徳山神楽【県指定無形民俗文化財】</p> <p>修祓・降神式から始まり、昇神式までの一貫した儀式が行われ、「神の舞」「倭舞(やまとまい)」など15の舞が舞われます。「清めの式」、「四座の舞」から始まり、囃子方(はやしかた)の調べにのって、先頭は天狗、巫女、舞子、神職と続き、列中には恵比須、大黒が道化した舞を舞いながら、見物人を笑わせています。</p>
11月	<p>●産業文化祭</p> <p>役場本庁舎周辺を会場に、地域住民の交流、ふれあいの場を提供することを目的に町の魅力・資源の再発見、地域への愛着につながる町民誰もが参加できる活気あるイベントが開催されます。</p>
	<p>●奥大井ふるさと祭り</p> <p>音戯の郷駐車場の特設会場で特産品の青空市が開催され、仮設のステージでは各種イベントが行われます。色鮮やかな紅葉を楽しみながら、多くの人出で賑わうお祭りです。</p>
12月	<p>●寸又峡温泉感謝祭</p> <p>寸又峡温泉では、昭和32年の温泉が湧出した記念の日を祝い、毎年、12月6日、7日の2日間、「温泉供養祭・感謝祭」を開催します。観音堂から天狗・山伏行列が出発、観光客も松明(たいまつ)を持って行列に参加し温泉街を練り歩きます。会場では鹿鍋・熊鍋・鴨鍋・猪鍋の4種類の鍋「きやんぼう鍋」が並び、蕎麦、おでん、やきいも、甘酒等が振舞われます。また、町営露天風呂をはじめ、多くの旅館では入浴が無料となります。</p>
1月	<p>●梅津神楽【県指定無形民俗文化財】</p> <p>梅地のこだま石神社と犬間の若宮神社に500年以上前から伝わる神楽で、神代の神話・岩戸神楽を模したものです。伊勢流に属し、雅な和楽器の調べにのせて「三宝の舞・天王の舞」など、古式豊かな舞が奉納されます。</p>
	<p>●佐澤薬師のひよんどり</p> <p>三津間地区内の佐澤薬師堂において、毎年1月7日から8日の朝にかけて例祭が行われます。また、60年に一度、十干十二支庚子の年には御開帳の特別大祭が執り行われます。「ひよんどり」は、村人たちによって、村中安全・家内無事を祈願して行われる踊りで、古代の「歌垣」「踏歌」の流れをくんでいるものといわれています。</p>

【温泉】

寸又峡温泉	泉質は、単純硫黄温泉で、切り傷、慢性皮膚病、慢性婦人病、糖尿病などに良いと言われています。また、湯上がりの肌のつるつるすべすべとした感じが特徴で、その効用から「美女づくりの湯」と呼ばれています。なお、日本の名湯百選にも選定されています。
接岨峡温泉	大地のシワのような、深い渓谷に湧き出る接岨の湯は、ナトリウム－炭酸水素塩冷鉱泉で、胃腸疾患、リュウマチ、神経痛などに効能があります。また、炭酸を多く含んだ重曹泉（透明）で、皮膚の分泌を促進し、老廃物を取り除いてくれることから、「若返りの湯」とも呼ばれています。
白沢温泉	昭和62年ヘリコプターによる温泉空中探査により湧出した温泉です。泉質はナトリウム－炭酸水素塩泉で、神経痛、慢性消化器病、冷え性、疲労回復など健康づくりには最適です。
千頭温泉	平成9年に湧出した温泉で、源泉は大井川鐵道の千頭駅に近くにありま。泉質は、ナトリウム－炭酸水素塩泉で、神経痛・筋肉痛、関節痛、冷え症などに効能があります。
梅高温泉	梅高温泉は、町民のみが利用できる「川根本町ふれあい温泉スタンド」として、健康増進、福祉の向上を目的に無料で開放されています。泉質は、ナトリウム－塩化物冷鉱泉です。

【特産品】

川根茶	大井川上流一帯は、江戸時代から知られる銘茶の産地です。茶栽培の伝統と大井川の清らかな水、川霧から立つ冷涼な気候に恵まれ、香り・滋味ともに申し分のない茶芽が育ちます。川根路には自園自製の手摘み茶園が多いのも特徴であり、全国茶品評会でも数多くの受賞を得ています。また、近年では紅茶やフレーバーティーとして活用されるなど、川根茶の魅力や可能性がますます広がっています。
茶羊かん	茶羊かんは、川根茶をはじめ厳選された原料や製法にこだわり、色・味・香りの三拍子が揃った絶妙な風味の川根路銘菓です。
しいたけ	ホダ木（原木）にしいたけ菌を接種してから約17ヶ月が経過し、頭をだします。川根本町のしいたけは、原木栽培が中心で高い香りと豊かな風味が特徴です。
自然薯（じねんじょ）	清らかな水と空気、豊かな大地で育った風味・ネバリが特徴で栄養満点の自然薯です。
わさび	清流で育った新鮮なわさびは、ピリツとした辛味もまた格別です。
山菜・川魚	春先のわらび、ゼンマイ、たけのこ、夏季のあまご、鮎など季節の幸が楽しめます。
柚子	町内の生産者で組織する組合が中心となって、ゆず酢やゆずジュース、ゆず味噌など加工品としても販売しています。
八つ頭	八つ頭は里芋の一種で、当町ではお雑煮に入れたり、茎は干して芋がらとして煮て食べたりします。

【公共の観光施設・レジャー施設】

<p>資料館 やまびこ</p>	<p>南アルプスから湧き出る水をあわせて蛇行する大井川流域の地勢と、緑豊かな森林に育まれる生物界、そして、その自然との調和・共存をはかりながら営んできた山峡(やまかい)の生活と文化に焦点をあてた施設です。山間地という立地条件から「山の資料館」として、「山と人間」・「過去と現代」の対話を通して環境保全やエコロジー精神を培います。</p>
<p>長島ダム ふれあい館</p>	<p>長島ダムは、多目的ダムとして洪水調節、流水の機能の維持、かんがい、水道用水・工業用水の供給を目的としています。また、「地域に開かれたダム」として、ダム堤体部の一般開放や貯水池周辺の施設設置を許可するなど、地域の活性化の為の環境整備が行われています。</p>
<p>寸又峡温泉 露天風呂</p>	<p>寸又峡の温泉街の一番奥にある露天風呂です。湯船から眺められる美しい沢の景色も好評で、ゆっくり「美女づくりの湯」が堪能できます。</p>
<p>もりのいずみ</p>	<p>清流のせせらぎと野鳥のさえずりが聞こえる森の中にある温泉スポット。木漏れ日あふれる露天風呂と陶器風呂、かぶり湯、うたせ湯、寝湯・気泡湯など9種類のお風呂が楽しめ、1日たっぷり温泉三昧で過ごせます。</p>
<p>もりの コテージ</p>	<p>奥大井の自然に抱かれた静かな宿泊施設で、ほんのりと木の香りが漂う、ログハウス風のコテージがあります。温泉施設「もりのいずみ」と隣接し、自然と温泉を満喫できます。</p>
<p>奥大井 音戯の郷</p>	<p>音をテーマにした体験ミュージアムです。野鳥のさえずりなど自然の中にある様々な音を聴診器で聴くコーナーや音のシャワーが注ぐドームなど、誰もが自由に音に触れることで、遊び心や感性が呼び覚まされます。</p>
<p>フォーレ なかかわね 茶茗館</p>	<p>町の暮らしや産業、自然、産物などを、川根茶をキーワードに紹介するコミュニティエリアです。日本庭園の見える茶室では、手作りのお菓子をお茶うけに、美味しい川根茶を味わうことができます。また、1階「シルエットギャラリー」には、日本を代表する影絵作家藤城清治氏による川根本町の情景、春夏秋冬を題材に描いた影絵が展示されています。</p>
<p>ウッドハウス おろくぼ</p>	<p>豊かな木の質感あふれる館内には、ラウンジ、レストランなどの一般利用者のための休憩施設や宿泊施設があります。敷地内には動植物や山のくらし等を紹介する「緑の伝習館」があり、研修室も利用ができます。</p>
<p>なかかわね 三ツ星 天文台</p>	<p>平成6年に環境省が主催する全国星空継続観察の結果、川根本町(旧中川根)が、「澄んだ星空 全国第2位」になったことを受けて、建設されたもので、満天の星空が望め、四季折々の星を観察できます。天文愛好家等で組織されたMAC(マック)のメンバーが季節、時間にあわせて様々な天体について分かりやすく説明してくれます。</p>
<p>アパート いちしろ キャンプ場</p>	<p>南アルプスの麓の雄大な自然の中にあるキャンプ場で、快適な芝サイトから、渓谷に行く南アルプスあぶとラインと大井川を間近に眺められます。旧井川線の薄暗いトンネルに行くウォーキングや水遊びが出来るなど、見所が多い場所です。</p>
<p>八木 キャンプ場</p>	<p>大井川の河畔にある老舗のキャンプ場です。大井川鉄道千頭駅から車で10分ほどの距離で、アウトドアの初心者が安心して利用できます。周辺には温泉施設「もりのいずみ」やテニスコート、ちびっ子広場、つり橋があり、キャンプ以外にも楽しむことができます。</p>

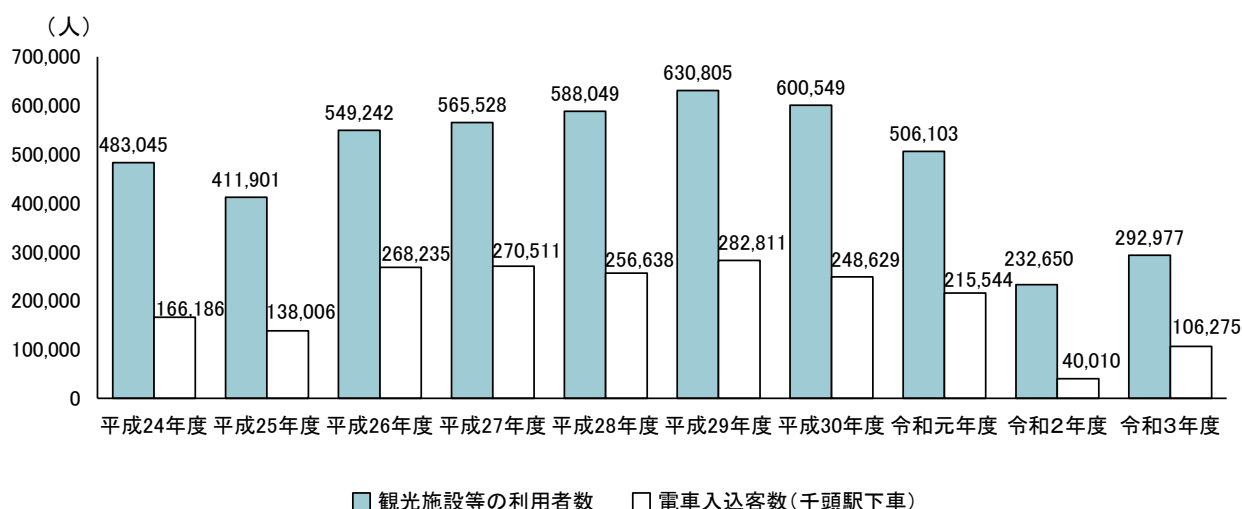
<p>池の谷 ファミリー キャンプ場</p>	<p>寸又川河畔の雑木林の中にある雰囲気の良いキャンプ場です。オートサイト20台、ソロキャンプ30台、フリーテントサイト100張可能で、バンガロー7棟のほか、キャンプファイヤーのスペース等の施設を完備した本格的なキャンプ場です。</p>
<p>三ツ星 オート キャンプ場</p>	<p>大井川支流の長尾川沿いにあるファミリー向けのオートキャンプ場です。さまざまな体験イベントが開催されるとともに、有料ピザ窯、へっつい(かまど)の貸し出しも行っていきます。</p>
<p>不動の滝 自然広場 オートキャンプ場</p>	<p>緑に囲まれた不動の滝自然広場の中にあるオートキャンプ場です。森の中の小さなキャンプ場で水の流れに耳を傾けながらキャンプを楽しめます。沢に沿って10分ほどすすめば、落差45mの不動の滝が水しぶきをあげています。</p>
<p>くのわき 親水公園 キャンプ場</p>	<p>大井川河畔の敷地面積4万平方メートルで、700人の収容が可能な明るい雰囲気のある広々としたキャンプ場です。バーベキュー棟や売店など施設も整っており、森林浴、ハイキング、川遊び、グラウンドゴルフもできます。また、近くには観光客にも人気の「塩郷の吊橋」もあり、対岸を走るSL列車を一望できる人気のスポットです。</p>



3 当町を取り巻く観光の状況

①観光施設等の利用者の推移

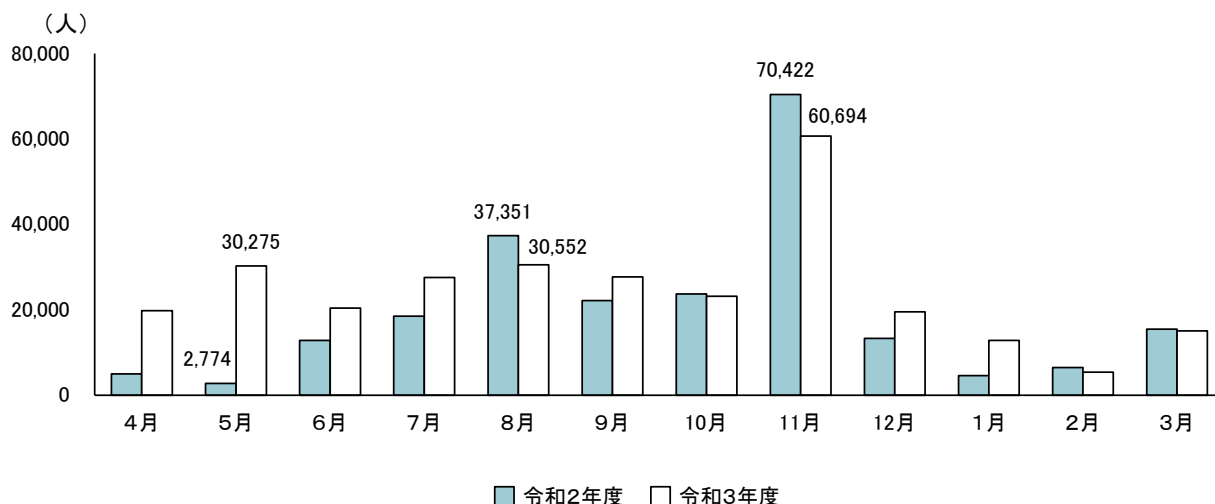
観光施設等の利用者数の推移は、平成24年度から上昇傾向にありましたが、平成29年度の630,805人をピークに、年々減少しています。電車入込客数については、平成26年度は前年に比べ急増し、その後横ばいの傾向にありました。その後、平成30年度から減少傾向、令和2年度には急激に減少していますが、これは新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛等により、外出を自粛したからと考えられます。



出典：川根本町統計要覧

②月別観光施設等の利用者数の推移

月別観光施設等の利用者数の推移は、例年5月のゴールデンウィーク、8月の夏休みの大型休暇や11月の紅葉の時期に増加します。一方、12月から3月の冬季には、利用者数が大幅に減少する傾向があります。

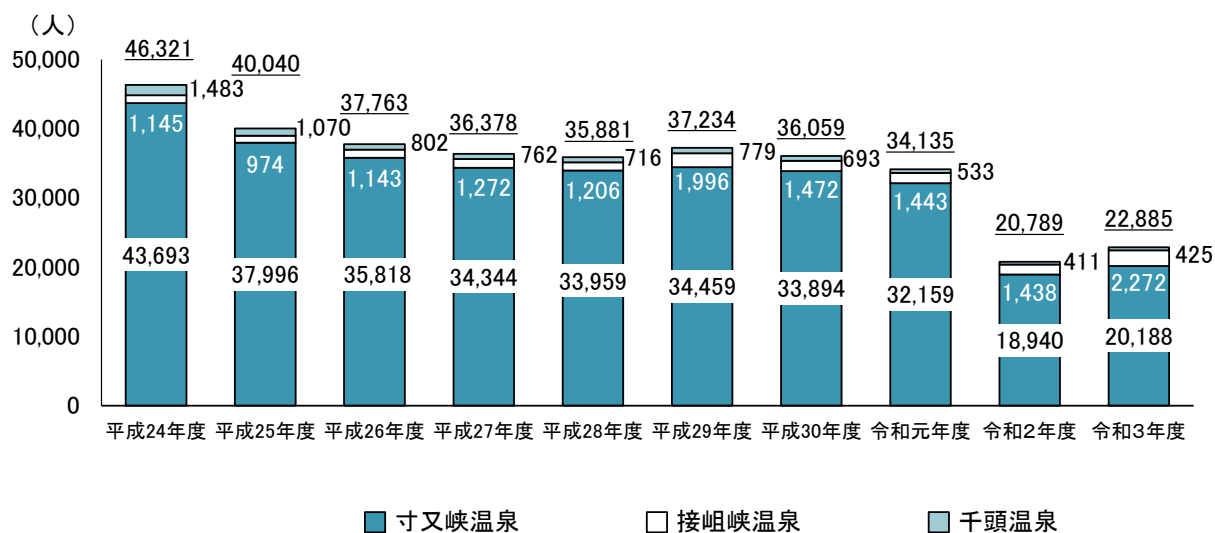


出典：川根本町観光入込客表

③ 宿泊客数の推移(入湯税申告による統計)

年間宿泊客は、平成26年度からは4万人を割り込んでおり、年々減少傾向にあります。宿泊客は顧客単価が高いため、宿泊客増加を目指すことで、さらなる地域経済活性化を望むことができます。

また温泉は通年で利用することができるため、当町の温泉を目的とした宿泊客の増加を目指すことで、ハイシーズン以外の観光客増加も期待できます。



出典：川根本町統計要覧

④ 主要施設等の利用者数の推移

主要施設等の利用者数は、「寸又峡溪谷」の利用者が最も多く、次いで「もりのいずみ」、「くのわきキャンプ場」となっています。全体的に減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染症流行の影響で令和2年にさらに激減しています。令和3年度には、「もりのいずみ」、「くのわきキャンプ場」、「三ツ星キャンプ場」などは、近年のキャンプブームや、屋外で密を回避できる影響からか、他の施設に比べて、回復傾向にあります。

	寸又峡溪谷	寸又峡温泉 露天風呂	接岨峡 温泉会館	もりのいずみ	音戯の郷	長島ダム ふれあい館	フォーレ なかかわね 茶茗館
平成29年度	126,654	10,423	15,120	27,000	36,804	17,618	27,009
平成30年度	139,363	9,663	13,849	25,708	30,907	17,928	25,334
令和元年度	103,940	9,135	16,681	24,006	14,812	17,919	14,878
令和2年度	76,850	6,875	10,477	16,464	5,147	15,162	8,412
令和3年度	58,510	5,695	5,457	23,097	6,645	13,449	9,200

	くのわき キャンプ場	三ツ星 キャンプ場	不動の滝 オート キャンプ場	池の谷 キャンプ場	八木 キャンプ場	アプト いちしろ キャンプ場	もりの コテージ	ウッドハウス おろくぼ
平成29年度	21,659	10,559	2,655	1,813	4,869	2,072	3,760	656
平成30年度	23,077	10,738	1,975	2,253	5,309	2,591	3,528	987
令和元年度	24,536	10,462	1,093	807	6,975	4,228	3,528	1,440
令和2年度	16,970	6,762	1,040	0	0	3,267	2,944	74
令和3年度	18,580	8,073	1,335	611	2,782	5,005	3,058	879

出典：川根本町統計要覧

4 各種調査等からみた川根本町の課題

①企業ヒアリング

<概要>

対象：川根本町内で観光に携わる活動を行っている事業所等

時期：2022年9月から2023年1月

<目的>

川根本町の観光に日頃から携わるなかでの現状や課題、観光に対する意見や今後の方向性・意向等を把握することを目的としています。

<結果>

各種関係団体等から出た主な課題や方向性は以下のとおりです。

観光の課題	求められる対策や方向性
夢のつり橋の混雑	ハイシーズンにおいて、混雑緩和や待ち時間を解消するための仕組みづくりが必要とされています。
通年で楽しめる観光スポットが少ない	ハイシーズン以外の季節における集客を図るため、通年で集客を図れる観光商品の開発が求められています。
寸又峡温泉の集客	夢のつり橋だけではなく、温泉地としての集客を図る施策が求められています。
アクセス道路が通行しづらい	島田市や静岡市から当町の観光スポットにアクセスする道路整備が求められています。
町の魅力を発信するためのPRが不足している	あらゆる世代に対する継続的な宣伝活動が必要です。
町内の移動方法が少ない	町内を簡単に移動できるよう、シェアサイクルやシェアレンタカー等の移動方法の充実が求められています。
後継者がいない	従業員の高齢化が著しいため、後継者の発掘や育成が求められています。
当町にしかない体験や名物が少ない	町の自然や名物を生かした、体験やご当地グルメの開発が求められています。
周遊コースがない	当町の一部地区のみを来訪するのではなく、町全体を回れる周遊コースや大井川流域の他自治体と協力した周遊コースの開発が求められています。

1 将来像

当町は、雄大な自然や鉄道、温泉、茶業・林業などの様々な地域資源を有し、それらは地域経済の活性化を担っています。近年では、SNSやテレビ放送の影響等により、多くの観光客が大自然を満喫するため当町に訪れます。

しかし、今後、観光産業の維持・発展を図るためには、人口減少や少子高齢化による担い手不足やコミュニティの消滅、多くの観光客の方におもてなしを提供する環境づくりなど抱える課題は様々であり、町民の生活と観光産業の共存のため、持続可能な観光づくりが必要になります。観光振興を通して、観光産業の担い手となる住民にとって暮らしやすいふるさとであり、また新たに訪れる人にとっても自然を感じ、何度でも気軽に訪れることのできる第2のふるさとを目指し、持続的に成長できるまちづくりを行います。

については、当町が目指す観光の将来像を以下に掲げます。

雄大な自然が癒す ふるさとのまち 川根本町
～新緑・紅葉・大井川、お茶と温泉・SLのまち～

2 目標値

観光振興による地域経済活性化を目指した施策により、計画最終年度である令和9年における目標値は以下のとおりです。

目標1 観光客数の増加

現状値(令和3年度)

29.3万人/年



目標値(令和9年度)

53.5万人/年

<目標達成のために行うこと>

- ◇ 従来から高いリピート率を有する観光資源(温泉、川根茶、つり橋、紅葉等)を活用した取り組み強化
- ◇ デジタルコンテンツを盛り込んだ若い世代のニーズに即したサービスの提供
- ◇ 大井川鐵道と連携した観光客アクセス方法の確保

目標2 宿泊客数の増加

現状値(令和3年度)

2.7万人/年



目標値(令和9年度)

4.2万人/年

<目標達成のために行うこと>

- ◇ 旅行会社・周辺自治体と協力し目的別に合わせた周遊・体験コースの開発
- ◇ コースは、観光地巡り周遊コース、温泉巡りコース、アウトドア好きの体験コース、大井川周辺周遊コースなど複数展開

3 計画の基本方針

観光振興を図るためには、観光客数・旅行消費額の増加、滞在時間の延伸を目指し、当町独自の魅力を高めることが重要です。観光の将来像の実現に向け、本計画の基本方針を以下に示します。

また、今期計画においては、町全体の共通課題を解決するための施策展開と当町の「観光地エリア景観計画」の地域区分に沿ってそれぞれの地域特性に合わせた施策の展開を行います。



魅せるまち・川根本町

川根本町の魅力を高める観光ブランド力の強化



喜ばれるまち・川根本町

もてなす人と心を育む



発信するまち・川根本町

魅力を伝え、広めるための戦略的なプロモーション



満足度が高いまち・川根本町

観光資源や受入れ基盤の整備

4 施策の体系図

将来像	基本方針	施策方針	推進施策
<p>雄大な自然が癒す ふるさとのまち 川根本町 く新緑・紅葉・大井川、 お茶と温泉・SLのまち</p>	川根本町の観光イメージアップ	1 訴求すべき観光イメージの確立	①観光イメージの発展 ②観光イメージ形成、確立に向けた工夫
		2 観光・宿泊拠点のイメージアップ	①主要観光・宿泊拠点のコンセプトの明確化 ②効果的な観光機能整備内容の明確化 ③DXに対応した観光地づくり
	川根本町の魅力向上	3 多種多様な観光商品の展開	①春夏秋冬の通年観光商品の開発 ②多様なニーズに対応した観光商品開発 ③宿泊利用に結びつく観光商品開発
		4 持続可能な観光地運営	①観光地の継続的な運営に向けたマネジメント推進 ②緊急時の対策推進
		5 地域のブランド創造の促進	①観光の将来像・イメージと関連づけた地域ブランドの創造 ②新たな特産品・食の商品開発
	郷土愛を生かした地域引力の向上	6 多彩な人材の発掘と育成	①商品開発の協力者の発掘と育成 ②後継者の発掘と育成 ③エコツーリズムの担い手支援 ④町内の各種団体との連携
		7 ホスピタリティのしくみづくり	①町民も巻き込んだおもてなしの展開 ②観光・宿泊施設等におけるおもてなしレベルの向上
	観光情報の発信とプロモーション	8 効果的なプロモーション	①メディア戦略の推進 ②インターネットを活用した情報提供 ③旅行会社等への情報提供の工夫
		9 情報提供体制の整備	①パンフレット・マップ類の見直し、デジタルパンフレットの作成 ②観光情報提供設備の設置・整備
	美しい観光地・環境形成	10 景観形成と景観修景	①自然景観の見せ方の工夫 ②里山景観の修景 ③温泉集落の修景
		11 道路環境の整備	①主要幹線道路の整備の推進
	観光振興組織・体制の強化	12 交通環境の整備	①二次交通の整備 ②案内・誘導サインの整備
		13 観光施策推進に向けた連携体制づくり	①大井川流域の市町と協力した観光振興 ②観光協会の組織強化 ③多様な主体の連携による体制強化 ④行政内関係各課の連携体制づくり



1 訴求すべき観光イメージの確立

当町には、さまざまな観光資源が存在します。中でも夢のつり橋やSLはメディアやSNSの影響で知名度がありますが、その他観光地の知名度は低い状況にあり、訪問者数や利用者数は観光地によって大きく異なります。認知度を拡大させ、各観光地の入込客数を増加させるためには、全国その他観光地とは一線を画したコンセプトのもと、すべての観光地を有効活用した魅力の醸成が必要となります。

そのため、観光地としてより多くの人に知られる町を目指し、誰にでも認知されるイメージの確立を行います。

2 観光・宿泊拠点のイメージアップ

寸又峡や千頭駅周辺、接岨峡は温泉やSLを目的に多くの観光客が訪れる町内随一の観光名所となっています。今後、観光地としてさらなる発展を目指し、アクセス改善のための交通手段や、DXに対応した観光地づくりなど各種インフラの整備を中心とした訪れやすく、快適な環境整備が必要です。

そのため、各エリアにおける特性を考慮した上で、整備の方向性や必要な機能を明確化し、環境整備を推進します。

3 多種多様な観光商品やイベントの展開

当町は、季節によって入込客数が異なっており、長期休暇や紅葉の時期に観光客数が著しく増え、それ以外の季節は閑散としています。年間を通じた安定した集客や、混雑の平均化を目指し、閑散期における魅力的なイベントの創出や通年で集客が可能な観光資源の発掘が必要です。

また近年では、ライフスタイルや価値観が多様化しており、観光客のニーズや旅行のありかたは様々です。

そのため、通年で集客を図れる観光資源やイベントの展開、多様化するニーズに則した観光商品の開発・推進が重要となります。

また、イベントの開催を通じて、地域活性化を点から線、線から面へと展開することが必要です。

1 訴求すべき観光イメージの確立

①観光イメージの発展

ターゲットを明確にするとともに、当町の地域資源を再考し、新たな観光資源の発掘やそれらを生かした観光のイメージ・コンセプトづくりを行います。

想定事業・取組み	内容
観光資源の発掘	町民による「町歩き」や、地域おこし協力隊が活動する地域イベントなどを実施する中で、当町の新たな観光資源や既存の資源の魅力の発掘を行い、訴求すべき方向性を見出す。
新イメージ・コンセプトの考案	若年層から高齢者まで幅広い客層を取り込むため、当町の既存のイメージである温泉やお茶などの良質な地域資源と新たな観光資源をかけ合わせたイメージ・コンセプトの考案に取り組む。

②観光イメージ形成、確立に向けた工夫

当町の観光資源を有効活用し、他市町村の観光地とは一線を画したイメージの形成を目指します。

想定事業・取組み	内容
「南アルプス自然環境保全活用連携協議会」による活動推進	自然環境と共存し、自然環境の中で育まれた良質な温泉や農作物などのブランド化を行うことで、町全体の観光資源の価値を高める取組みをする。
観光地イメージ確立	夢のつり橋が「死ぬまでに渡りたい世界の徒歩吊り橋10」に選ばれるなど、町内には観光資源として高いポテンシャルを秘めたものも多数存在することから、それぞれの特徴を活かした独自の観光地イメージを確立する。
観光キャッチフレーズ・ロゴの作成	観光のPR活動の一環として、町のイメージにあう、ストーリー性のあるキャッチフレーズやロゴなどを作成する。
デザイン性のある配布物を活用したイメージアップ	観光協会職員や地域おこし協力隊との連携により、当町の観光資源の魅力を引き出す写真やイラストを使ったポスターやパンフレットの作成を行い、首都圏、中部圏などへの統一感のあるロゴやイメージ形成を図る。

2 観光・宿泊拠点のイメージアップ

①主要観光・宿泊拠点のコンセプトの明確化

町内のエリア毎にそれぞれに観光資源や特性を生かした魅力的でかつ分かりやすいコンセプトを打ち出すことにより、誰もがイメージしやすく、親しみやすい観光地づくりを目指します。

想定事業・取組み	内容
千頭駅周辺のコンセプトの確立	周辺地区で統一されたコンセプトのもと観光地づくりが行えるよう、周辺店舗等の意識や機運醸成を図り、地区一体となってまちづくりを推進する体制を強化する。
寸又峡エリアのコンセプト確立	エリア内の温泉場、歩きたくなる町並みづくりの推進とプロムナードコースや夢のつり橋周辺の自然を中心とした観光地としてより一層の磨き上げを行うことで、夢のつり橋だけでなく、寸又峡＝温泉というイメージ定着を図り、寸又峡温泉を目的とした観光客集客を目指す。
温泉毎のコンセプトの確立	既に寸又峡や接岨峡は、それぞれ「美女づくり」、「若返り」などの親しみ易いネーミングを掲げているが、白沢温泉にも適当なネーミングを設けることを検討する。

②効果的な観光機能整備内容の明確化

推進施策「①主要観光・宿泊拠点のコンセプトの明確化」に合わせ、必要な観光機能の整備内容を明らかにし、事業の展開を図ります。

想定事業・取組み	内容
寸又峡露天風呂の活用	バレルサウナ事業と連携し、露天風呂を中心とした集客の推進を図る。
夢のつり橋混雑緩和推進	予約サイトやアプリの運営・開発を検討し、ハイシーズンにおける待ち時間の短縮を図る。
エリア内や各観光拠点を結ぶ移動手段の充実	MaaSの導入や自転車・セグウェイ等のシェアサイクル事業の実施を検討し、効率的に周遊できる環境を整備する。
「起業及び事業継続チャレンジ補助金」の実施	商業の活性化、町並み形成によるイメージアップを図るため、共同により店舗を新築又は増改築、備品や設備の新設、更新を行う商店等に補助金を交付する。
電気自動車(EV)等の充電インフラ整備	環境に配慮した観光地づくりの一環として電気自動車(EV)等の充電インフラの整備を行う。
観光拠点のバリアフリー化	段差の解消やスロープの設置など、観光拠点におけるバリアフリー化を行い、どのような人でも利用しやすい観光地を目指す。

③DXに対応した観光地づくり

DXに対応した快適な観光地づくりを進めるため、各種インフラの整備を行います。また、現実世界だけではなく、当町の魅力と最新技術を融合させたバーチャル観光地作りを行います。

想定事業・取組み	内容
電波環境の改善	町内全域で、SNSのリアルタイムでの発信や、ARを使ったイベントを行うため、電波状況の改善を民間会社に要望する。
キャッシュレス決済普及の推進	各観光施設や事業所において、キャッシュレス決済導入の指導や支援を行う。
ARを使ったイベント開催の強化	人気漫画キャラクター等とコラボし、AR技術などを活用したイベント開催を行う。
メタバース観光の推進	当町の雄大な大自然を舞台に、メタバースによるバーチャル体験を行い、実際の訪問や購買につながるよう町の魅力を再現する。



©あろ／芳文社

3 多種多様な観光商品の展開

①春夏秋冬の通年観光商品の開発

年間を通じて安定した観光客の確保を図るため、季節性や観光資源の特性を考慮した商品開発を行います。

想定事業・取組み	内容
花を楽しむ季節の集客促進	花の名所で開催されるイベント支援や、県立自然公園及び国立公園を活用したコース整備を行うとともに、蕎麦粒山や大札山だけではなく、沢口山や寸又峡を結ぶコース設定や、ウッドハウスおろくぼを含めた宿泊を絡めたプログラムの提供を行い、山野草鑑賞など自然環境を最大限に活かした取組み推進に努める。
大井川流域を活用した体験型観光等の工夫	カヌーなど、大井川流域を活用した川遊びや体験型、自然探訪型の観光商品を開発し、夏休みの期間や春・秋など家族やグループなどで楽しむことのできる商品の提供に努める。
紅葉シーズンにおける集客の確保	接岨峡や寸又峡をはじめ、紅葉の名所と町内を走るSLやアプト式鉄道を活用した紅葉絡みの観光商品を開発し、誘客を図る。

②多様なニーズに対応した観光商品開発

観光客のニーズ多様化に対応するため、個人旅行やワーケーション、着地型観光を含めた多種多様な観光商品の開発を行います。

想定事業・取組み	内容
登山客向けの観光商品の開発	トレイルマップの作成や登山客向けのイベント開催、登山コースと温泉を組み合わせたプランの考案、送迎サービスを含めた観光商品の開発を行う。
多目的広場の整備検討	観光施設付近の空き地等における芝生の整備を検討し、レクリエーション活動の場として使用できるよう整備を図る。
教育旅行や企業研修向けの観光商品の開発	体験や学習が主流の修学旅行や企業研修・グループワークなどを行うワーケーションに組み込めるような、自然環境を活かした観光商品の開発を行う。
モニターツアーの開催	各種モニターツアーを開催し、観光客のニーズを把握し、当町に適した観光商品の開発を行う。
エコツーリズム団体の活動推進	各種ツーリズムグループの地域資源を活かした自然体験プログラムを考案し、観光誘客の取り組みを推進する。

③宿泊利用に結びつく観光商品開発

観光消費額の向上を目的とし、各種体験プログラムを核とした宿泊プランを提供することで、滞在日数の延伸を図ります。

想定事業・取組み	内容
<p>宿泊プラン、滞在観光利用促進プランの開発</p>	<p>宿泊利用を前提に各エリア内にとどまらず、町内全体の事業所で連携し、各観光スポットを繋ぎ、食や様々な体験観光をセットにした多様なコースを作ることで、滞在の長期化を目指す。</p>
<p>体験型観光の推進</p>	<p>グリーン・ツーリズムによる農業体験やその他の各種の体験プログラムを通じて、地域住民との交流や当町の自然体験と宿泊機会を提供する。</p>



4 持続可能な観光地運営

①観光地の継続的な運営に向けたマネジメント推進

当町の魅力を維持するための財源の確保と、町内経済活動の安定化を図ります。また、災害時に事業者や観光客の安全確保を行います。

想定事業・取組み	内容
無料観光施設・遊歩道の有料化検討	プロムナードコース等の遊歩道及び各種観光施設の有料化を検討し、環境保全や町内観光資源の整備財源の確保を図る。
混雑の平準化推進	閑散期の需要の底上げと来訪時期分散のため、閑散期に魅力的なイベントやコンテンツを創出する。
インフラツーリズムの推進	つり橋やダムを活用した、見学会やツアーの開催を検討する。また、各インフラが災害等による被害を受けた場合には、仮復旧後に速やかに本復旧に向けた計画を検討する。

②緊急時の対策推進

災害等の緊急時にも安全に当町で過ごせるよう対策を行います。

想定事業・取組み	内容
地元住民や事業所への研修や訓練の実施	緊急時に適切な対処や誘導が出来るように地元住民や事業所に対して、研修や訓練等を実施する。
旅行者に対するの周知啓発	土地勘がない観光客の安全確保のため災害時の危険箇所や避難場所など周知啓発を行う。

5 地域のブランド創造の促進

①観光の将来像・イメージと関連づけた地域ブランドの創造

観光の将来像や訴求イメージと関連づけた「地域ブランド」の創造へ向けて、地元企業をはじめ、観光に係わる事業者と協力し、観光商品や特産品のイメージアップとブランド力を高めていきます。

想定事業・取組み	内容
川根茶ブランドによるイメージアップ	たびたび農林水産大臣賞を受賞する程の銘茶「川根茶」を生産する町として、全国的なPRや洗練されたパッケージ・広告づくりなどにより、ブランドイメージを高める。
川根茶ブランドの普及	フォーレなかかわね茶茗館を活用し、観光事業者と茶販売事業者の連携による川根茶普及に向けたイベントや宣伝活動を行う。またサブスクリプション制の導入検討など、川根茶の購買機会の増進を図る方策の検討も行う。
茶葉生産工場の見学受け入れと、ツアー商品の開発	主要産業である茶の生産工程を見学・体験することを通して、川根茶の質の高さや生産者のこだわりなどを伝え、消費者の理解を促進するべく、生産工場での見学受け入れや「見学ツアー」の開発、受け入れに必要なノウハウを備えた人材の開発と組織化に取り組む。

②新たな特産品・食の商品開発

当町ならではの食文化や食材を生かした、オリジナルのご当地グルメやお土産品の開発を行います。

想定事業・取組み	内容
地場特産物を活かした料理・土産の開発	茶や柚子、山菜、椎茸のほか、イノシシやシカなどのジビエ料理やご当地グルメやB級グルメ、土産品の考案を行い、食事処や宿泊施設で当町ならではの食や土産の提供を図る。
特産品・ブランド認定の実施	当町の特産品としてブランド認定し、町としてPR活動や販売促進を支援する。

6 多彩な人材の発掘と育成

①商品開発の協力者の発掘と育成

当町の観光振興を支える人材の発掘と育成のため、講座や事業推進を行います。

想定事業・取組み	内容
観光案内人養成講座の開設	当町の観光資源に関する知識や見識などを身につけた、町公認の案内人を育てるための養成講座を開設する。
「新商品開発及び販路開拓事業」の実施	町内の中小事業者等が行う新商品の開発や新ビジネス展開に係る事業、販路開拓に係る事業に対して補助金を交付して支援する。

②後継者の発掘と育成

観光産業の維持・発展を図るため、従業員の高齢化や担い手不足解決に向け、地域内外において後継者の発掘と育成を行います。

想定事業・取組み	内容
観光産業の後継者発掘と就業継続支援	観光産業を支える事業所や施設の後継者を発掘、その後就業に向けて支援を行うために移住施策などとの連携を強化する。

③エコツーリズムの担い手支援

エコツーリズムの担い手となる地域コーディネーターや推進団体の活動を支援することで、当町の自然を生かした観光と環境保全の両立を図ります。

想定事業・取組み	内容
エコツーリズム推進事業の実施	町内のエコツーリズム推進のためのキーパーソンとなるエコツーリズムコーディネーターの活動や団体経営の自立を支援し、エコツーリズムによる地域活性化につなげる。

④町内の各種団体との連携

観光に携わる各種地域団体やNPOなどと連携・協力し、事業推進を行うとともに、それらを担う人材の育成を図ります。

想定事業・取組み	内容
共同での事業実施	まちづくり観光協会や寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合、各種ツーリズムグループなどとの相互協力により、観光誘客を図るための事業を推進するとともに、人材育成体制の充実を図る。

7 ホスピタリティ(おもてなしの気持ち)のしくみづくり

①町民も巻き込んだおもてなしの展開

観光関係者以外の地域住民や事業所等の様々な主体が、観光振興に積極的に参画するよう、イベント支援や講座開催を行います。

想定事業・取組み	内容
住民による自主的な観光イベントの支援	奥大井ふるさと祭りや寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合等、住民が主体となって主催する各種のイベントを支援する。
観光ガイド・インストラクター養成講座への参画	ガイド養成講座の開催や、旅行代理店等と連携し、インストラクター養成イベントの開催を検討する。
町歩き・学習機会への参加	身近な観光資源の良さや当町の歴史を認識し、町民の観光や景観形成、環境保全への関心を高める。

②観光・宿泊施設等におけるおもてなしレベルの向上

喜ばれるおもてなしを提供し、観光客と積極的なコミュニケーションをとれるよう、接遇マナーやスキルの習得を目指した意識啓発活動を行います。

想定事業・取組み	内容
宿泊施設での呈茶	「おもてなしの茶箱」の作成や呈茶教室、お茶の入れ方講習会等の意識啓発活動を継続開催し、美味しいお茶の入れ方を学び、宿泊施設での「川根茶」の提供を図る。
ホスピタリティ意識の向上又は醸成	質の高い観光客へのサービス精神などを学ぶため、動画視聴や成功事例の提供を行う等、意識啓発を推進し、おもてなしレベルの向上を図る。

8 効果的なプロモーション

①メディア戦略の推進

当町の魅力を広く宣伝するため、テレビ等のメディアを生かした観光地や商品の情報発信を行います。

想定事業・取組み	内容
テレビ局等とのタイアップによる観光PR	当町の観光資源を有効に活用したコンテンツの作成・提供や、ドラマや映画、旅番組などの撮影が行いやすい地域づくりを目指す。
ロケーションツーリズム推進体制の強化	ロケーションツーリズムを推進するため、環境整備やロケ・撮影支援を行う。
マスメディアに向けた観光情報・観光魅力づくり・商品開発情報のリリース	テレビ局や新聞社等に向けて、当町の様々な観光情報や観光魅力づくり・商品開発等に関する取り組みについてリリースし、取材や放映・報道紹介を促進する。

②インターネットを活用した情報提供

急速なデジタル化拡大にあわせて、当町の観光情報を必要なときにいつでも得られる環境にするため、インターネットを利用したリアルタイム発信やコンテンツの提供を行います。

想定事業・取組み	内容
町のHPでの情報発信	町やまちづくり観光協会、地域おこし協力隊、その他関連団体との連携により、それぞれのHPで一元化した各種観光情報の発信を継続的に行う。
SNSやYouTubeを活用した積極的な情報発信	若年層に向け、当町のイメージ定着やPR推進のため、SNSやYouTubeを中心にPRや体験プログラム等のデジタルコンテンツ配信を行う。
「見頃情報」や登山情報等の発信	桜やアカヤシオ、シロヤシオの開花情報や紅葉情報、さらにトレイルマップやGPXデータ等の登山に関する情報の収集や発信をリアルタイムで効果的に行う。
AR技術などを活用した情報発信	携帯端末によるAR技術などを使った専用のアプリを活用しながら、視覚的に楽しめるとともに実用的な情報の発信を行う。

③旅行会社等への情報提供の工夫

様々な旅行形態に合わせた旅行商品を展開するため、事業所等と連携したイベント開催や、旅行会社の企画・宣伝の支援を行います。

想定事業・取組み	内容
旅行会社企画ツアーへの協力とモニターツアー等の実施	旅行会社が企画・実施する当町へのツアーに対して旅行規模や形態に合わせた、側面からの支援、協力を行うとともに、島田市との連携によるモニターツアーやファムトリップを行う。
新たな魅力に関する観光情報の提供	当町ならではの新たな体験観光の魅力や「食」の魅力を中心に、旅行会社等へ情報提供をする。その際には、対象客層も明らかにする。
旅館・民宿や飲食店との連携	旅館・民宿などと連携し、宿泊施設の特徴と町内の周遊観光と合わせた長期滞在を目指すコースの設定やキャンペーンを実施する。



9 情報提供体制の整備

①パンフレット・マップ類の見直し、デジタルパンフレットの作成

多種多様化するニーズにあわせ、既存のパンフレットの見直しを行い、情報の最新化を行います。またアクセシビリティ向上のため、多言語化やデジタル化も行います。

想定事業・取組み	内容
インバウンド対応強化のため 情報発信媒体の 多言語化推進	パンフレットやSNS等の情報発信媒体を活用した英、中、韓の多言語表記化を進め、外国人観光客への対応を図る。
各種パンフレット、 ガイドマップの 整理・改定及び デジタル化	対象市場・客層や用途、その情報内容を精査し、既存のパンフレット・マップ等の整理・改定及びデジタル化を進め、より効果的なものにする。
散策マップ作成	駅や町営バス運行路線周辺の散策コース案内マップを作成する。
観光資源の データベース化	刻々と変化する情報に対応するため、観光資源の情報を整理し、データベース化することで、効率的な管理を行う。

②観光情報提供設備の設置・整備

観光情報の提供・発信のための設備設置や整備を検討します。

想定事業・取組み	内容
観光情報提供 設備の設置・整備	既存の観光施設を活用し、情報発信のためのパンフレットやチラシの設置依頼、モニター等のコンテンツ配信用の設備の設置・整備を検討します。

10 景観形成と景観修景

①自然景観の見せ方の工夫

雄大な自然環境を最大限に活かしたツアーの実施や、コース・ビューポイントの整備により、観光客へ自然の魅力を伝えます。

想定事業・取組み	内容
エコツーリズム、グリーン・ツーリズムの推進	エコツーリズムやグリーン・ツーリズムを推進し、観光客等に自然環境や地域固有の魅力を伝え、理解を深めてもらうことにより保護や保全を図る。
森林療法ツアーの実施	森の案内人のガイドにより、豊かな緑、澄んだ空気や清らかな水等がもたらす癒しの効果を感じるとともに、温泉や地域の食材等など当町の魅力を体感するツアーを実施する。
「展望・眺望ポイント」を定め、周辺環境整備を実施	自然景観の優れたポイントを選定し、展望地・眺望地として周辺環境整備を進める。
トレイルマップ・登山道の整備	森林レクリエーション推進協議会や地元団体と協力して、案内板の設置、登山道維持・補修等を行い、登山者の安全対策を図る。

②里山景観の修景

常に美しい里山の景観を維持するため、保全活動等を推進します。

想定事業・取組み	内容
環境保全活動の推進	地域住民の協力のもと、田畑の保全、地域の美化活動を継続し、町民自らで美しい環境保全を形成していく意識の醸成と美しい里山環境の保全を図る。また、自然環境や建築物保全のため地域や観光施設ごとに利用ルールの設定を検討する。

③温泉集落の修景

町内各温泉地のそれぞれの魅力ある素材を生かした景観を演出するため、統一感のある町並み形成や環境整備を行い、風情ある温泉地づくりを目指します。

想定事業・取組み	内容
温泉地としての景観に配慮した町並み整備	周辺の自然環境との調和を図りながら、温泉集落一体で、建築物や工作物の形態や意匠、また花や樹木の植栽等に配慮し、統一の取れた美しい景観形成と、周辺の自然環境との調和を図る。
温泉集落のイメージづくり	集落内すべての旅館や民宿経営者の意識改革を図るとともに、温泉集落としての雰囲気・イメージづくりに取り組む。

11 道路環境の整備

①主要幹線道路の整備の推進

マイカーやバスで町内に訪れる観光客のスムーズな移動と周遊が行えるよう、高速道路のICからのアクセス、町内の各観光スポットに接続する主要幹線道路の環境整備を推進します。

想定事業・取組み	内容
景観間伐の実施	国県道を中心に、景観や安全な通行などの観点から交通往来の多い路線を中心に人工林の景観間伐を行う。
国県道の渋滞対策の実施	ゴールデンウィークや秋の紅葉シーズンに、国県道の2箇所ですり抜けの交互通行を実施、また狭隘区間改善のため、道路改良の要望活動を行い、渋滞緩和を講じる。
狭隘な道路区間の整備	円滑な入込、町内周遊に供する主要幹線道路について、狭隘箇所の改良やバイパス化、トンネル整備などについて要望します。



12 交通環境の整備

①二次交通の整備

観光客の利便性の向上や交通弱者への対応として、鉄道等で訪れる観光客に対し、千頭駅をはじめ交通拠点から観光地点までの移動や、観光地点間の円滑な周遊を可能とする二次交通の整備に努めます。

想定事業・取組み	内容
季節型のシャトルバスの運行	桜や紅葉のシーズンにおいて、観光客の利便性の向上や交通の充実を目的にシャトルバスの運行を行う。
効率的な観光地移動手段の運営の推進	ピークシーズンにおいて、駅や観光・宿泊拠点などにおける駐車場の充実を図り、バスなどの公共交通機関による移動を推奨する。

②案内・誘導サインの整備

周辺景観や自然環境に配慮し、観光客のスムーズなアクセスを目的とした統一感のある看板や案内板の設置を行います。

想定事業・取組み	内容
観光看板等の設置	当町へのアクセス道沿線及び大井川鐵道やJRの駅等の他、バスや鉄道車両内に、観光PRのための看板や広告掲示を行う。
文化財案内板の設置	町内における国、県、町の文化財の看板を設置する。また、修繕の必要な看板は随時改修を行う。

13 観光施策推進に向けた連携体制づくり

①大井川流域の市町と協力した観光振興



大井川流域の市町と連携し、市町の枠組みにとらわれない観光商品の開発や、観光地プロモーションを行います。

想定事業・取組み	内容
周遊コースの開発	滞在日数の延伸や消費額の増加を目指し、大井川流域周辺の魅力を最大限に生かした周遊コースの開発を図る。
プロモーション実施	大井川流域が一体的にプロモーションを行うことでスケールメリットを活かした魅力の発信に努める。
近隣市町とのDMO化検討	観光地域としての魅力を高め、効果的で効率的な観光振興や地域経済活性化を目指すため、近隣市町とのDMO化を検討する。

②観光協会の組織強化



当町の観光の中核を担う組織として、観光協会の主体的な活動を推進するための基盤の強化と、観光客への情報提供を行います。

想定事業・取組み	内容
観光情報の提供の強化	町の観光における総合窓口として様々な情報を集約し、観光客のニーズに合わせた情報の提供や観光商品の提供を多様な発信方法で継続的に行う。
組織の基盤強化	まちづくり観光協会の活動を円滑に進めるため、人材と財源の確保を図る。
役割の計画化	町の観光施策推進の役割の明確化を図り、専門的ノウハウを備えた人材の確保を図る。

③多様な主体の連携による体制強化

観光地としてのさらなる発展を目指し、様々な関連団体・事業所と連携することで、観光振興の推進体制の強化を図ります。

想定事業・取組み	内容
NPO等の民間団体との連携	多様化する観光ニーズに対して、あらゆるノウハウを取り入れ、きめ細かな対応を図るため、当町の観光振興に携わる関係団体や企業、大学との連携を図る。
地元事業者との連携	町内外で開催される観光イベントなどへの参画や物販施設への出店・出品を推進し、販路拡大などを支援する。

④行政内関係各課の連携体制づくり

担当課にとどまらず、行政内においても関係各課の連携を深め、庁内の広域的かつ機能的な協力体制づくりを推進します。

想定事業・取組み	内容
本計画の進捗管理・評価	計画期間を5年とし、観光振興に係わる事業の進捗、実施状況を年度ごとに管理・評価する。
所管課との連携	河川、森林、公園等の庁内各課が所管する資源について、観光振興の視点による情報提供・発信や協力を行う。
トップセールスの推進	町長自らが町の紹介、情報発信を継続的に行い、観光地としてのプロモーション活動を推進・強化する。

1 計画の概要

当町では、観光地における景観形成を推進するため、重点的に景観形成を図るエリアを「寸又峡温泉地区」、「千頭周辺地区」、「久野脇・塩郷地区」、「接岨地区」、「尾呂久保地区」の5つに定め、観光地エリア景観計画を策定しています。

本計画においては、各エリアの特性を生かした目指すべき景観像を描き、景観像の実現のために必要な整備や機能を明らかにし、景観整備を行います。

壮大な山々、豊かな水、郷愁を感じる建造物、鮮やかな茶畑等の魅力を生かした統一感のある良好な景観を保ち、自然や町並みの保全を図ります。

景観形成が、観光地としてさらなる魅力向上につながるよう、環境整備を推進します。

2 体系図

エリア	目指す景観像	目標	方針
寸又峡温泉地区	本州で唯一の原生自然環境保全地域を源流に持ち、大自然を誰もが気軽に満喫できる日本一清楚な温泉保養地 寸又峡温泉	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自然環境の魅力を誰もが満喫できる景観づくり (2) アクセス道路でも絶景を満喫できる景観づくり (3) 清楚な温泉街を誰もが満喫できる景観づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ① プロムナードコースの魅力を満喫できる環境整備 ② 誰もが安全に自然景観を楽しめる環境整備 ① アクセス道路からの眺望を楽しめる環境整備 ② 移動が快適で、気軽に何度も訪れたいくなる環境整備 ① 誰もが清楚な温泉街を満喫できる空間を整備 ② 温泉街の景観や自然景観を満喫できる環境整備
千頭周辺地区	大井川とSLと自然が楽しめる 千頭地区周辺	<ul style="list-style-type: none"> (1) 懐かしさとゆったりとした時間を楽しめる景観づくり (2) 大井川や走るSLを楽しめる景観づくり (3) 自然や四季を楽しめる景観づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ① くつろぎたいくなる場づくり ② SLの終着駅を活かした場づくり ① 散歩したいくなる場づくり ② 地域住民と来訪者の調和が図られた場づくり ① 季節を感じられる場づくり ② のんびり過ごすことができる場づくり
久野脇・塩郷地区	茶園と大井川の特徴を楽しめる 久野脇・塩郷地区	<ul style="list-style-type: none"> (1) 大井川の河流の雄大さを体感できる景観づくり (2) 美しい茶園と山間地域の調和を体感できる景観づくり (3) 大井川と吊り橋の調和を体感できる景観づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ① 眺望を満喫できる場づくり ② 大井川の河流の雄大さを感じられる場づくり ① 美しい茶園景観を楽しむことができる場づくり ② 地域での体験を楽しむことができる場づくり ① 大井川を感じることができる場づくり ② 吊り橋を楽しめる場づくり
接岨地区	自然と人工物が調和する水辺の景観を体感できる 接岨地区	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自然と人工物の調和を五感で体感できる景観 (2) 奥大井の自然に抱かれた温泉地を満喫できる景観 	<ul style="list-style-type: none"> ① 自然と人工物の織りなす唯一無二の景観を楽しむことができる環境の整備 ② パドルスポーツや散策などのアクティビティを通じて自然を体感できる環境の整備 ① 優れた泉質の温泉だけでなく、併せて周囲の景観も楽しめる環境の整備
尾呂久保地区	マウンテンスポーツのベース 山の暮らしを『体験』できる 尾呂久保地区	<ul style="list-style-type: none"> (1) ウッドハウスおろくぼを核とした山の暮らしを『体験』できる景観 (2) 登山、ハイキング等のマウンテンアクティビティが楽しめる景観 	<ul style="list-style-type: none"> ① 尾呂久保集落に日本の原風景を保存、再現し、暮らしを『体験』できる景観づくり ② ウッドハウスを中心にアウトドアを感じる景観、施設整備 ① 手を入れるのは最小限に、尾根伝いの眺望を最大限に魅せる景観整備

3 エリア別施策「寸又峡温泉地区」

<目指すべき景観像>

本州で唯一の原生自然環境保全地域を源流に持ち、
 大自然を誰もが気軽に満喫できる日本一清楚な温泉保養地
 寸又峡温泉

目標1 自然環境の魅力を誰もが満喫できる景観づくり

方針① プロムナードコースの魅力を満喫できる環境整備

取組み	
短期	● 渓谷、夢のつり橋の眺望を良くするための修景伐採
中長期	● 眺望を維持するための修景伐採 ● 眺望を楽しむための展望所の整備とベンチ等の設備の整備 ● 尾崎坂展望台の園地整備(案内板・休憩所の整備、トイレの改修) ● プロムナードコースが森林鉄道跡地とすることができるような仕組みの整備 (展示してある森林鉄道車両の塗装等)

方針② 誰もが安全に自然景観を楽しめる環境整備

取組み	
短期	● プロムナードコースへの落石防護ネットの設置・改修 ● 景観に配慮した、分かりやすい案内看板の整備、既存看板の整理 ● 安心、安全な遊歩道の整備(遊歩道の舗装、排水施設の整備等) ● 誰もが楽しめる散策コースの整備
中長期	● 誰もが負担が少なく散策できる新ルートの検討、整備

方針① アクセス道路からの眺望を楽しめる環境整備 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●眺望を良くするための修景伐採 ●眺望を楽しめるビューポイントの来訪者への周知
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ●森林整備計画を確認し、かつ所有者の意向を尊重し、整備箇所を決め、道路周辺の樹木を針葉樹から広葉樹への植え替えを進める ●眺望を維持するため、ビューポイントを定め修景伐採を計画的に行い、併せて眺望スペース等を確保する

方針② 移動が快適で、気軽に何度も訪れたいくなる環境整備 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●公共交通機関を活用してもらえようにするための方策の検討、実施 ●季節ごとの景観の魅力を感じることができる環境整備の検討
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ●アクセス道路(県道77号線)で、車両の交互通行が可能となるよう関係機関への働きかけ ●マイカーの乗り入れ規制及び乗り合いバスの運行、パーク&ライドの検討 ●電柱、ガードレールなどの構造物は、景観に配慮した形態意匠の整備に配慮し、夜間や降雨・濃霧時に安全に通行できるよう、考慮し整備する

方針① 誰もが清楚な温泉街を満喫できる空間を整備 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●誰もが利用しやすいトイレ及び休憩所の整備 ●来訪者が温泉街の情報を得られ、憩いの場として利用できる広場の整備 ●住民主体による、花壇の管理や遊歩道の清掃、管理
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ●温泉街の景観をより楽しむための散策路や休憩所の整備 ●空き地、空き家を活用した店舗や休憩所整備の検討 ●清楚なイメージのある温泉街の文化的施設を気軽に利用できる環境整備

方針② 温泉街の景観や自然景観を満喫できる環境整備 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●案内看板等の大きさや色彩、デザインの配慮内容を示したものの整備 ●既存看板の整理 ●空き地、空き家の景観に与える影響への対応(所有者への管理の協力依頼など) ●温泉街のイメージを高めるイベント広場の整備と季節ごとに行うイベントの検討
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ●夢のつり橋以外の地域資源をブラッシュアップし、地域の新たな魅力とする ●既存公園等の公共施設や設備について、景観に配慮した形での改修を行う ●建物等の形態意匠の約束事を再検討し、新たな地域の基準をつくる ●温泉街の無電柱化の検討



4 エリア別施策「千頭周辺地区」

<目指すべき景観像>

大井川とSLと自然が楽しめる 千頭地区周辺

目標1

懐かしさとゆったりとした時間を楽しめる景観づくり

方針① くつろぎたくなる場づくり 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none">● 駅舎やトイレ、駅前広場等が気持ちよく利用できるよう管理を行う● 地域の魅力の再確認と来訪者への情報提供の実施● ベンチなど既存設備の修繕及び花壇等の整備や管理
中長期	<ul style="list-style-type: none">● 既存施設(駅舎、観光施設、トイレ等)の改修等の実施● 温泉や駅の設備を活用した新たな体験施設等の整備● 駅周辺の景観を阻害する設備等の改修

方針② SLの終着駅を活かした場づくり 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none">● 住民及び事業者による駅周辺地区のイメージの再確認と地域づくりの方向性の検討● 駅周辺地区のデザインコード及び建物等のデザイン等のルールの検討● SLや駅舎、駅の施設等を見るなどして楽しめる仕組みの構築
中長期	<ul style="list-style-type: none">● 駅周辺地区でのデザインコードの取り組み実施● 地域のデザインのルールに沿った既存建物や看板等の改修● 駅を一望できる休憩所整備の検討● 駅周辺の一体感が増すような施設等の再整備

方針① 散策したくなる場づくり



取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存展望場の眺望を阻害している樹木等の修景伐採 ● 安全で安心して散策できる歩道の整備及び案内サインの確認 ● 来訪者の利便性、満足度の向上のための施設整備 ● 大井川や走るSLの視点場に行くことができる案内の整備
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 景観に配慮した案内サインの再整備 ● 散策路での新たな視点場、休憩所等の整備 ● 新たな散策ルート及び視点場等の整備

方針② 地域住民と来訪者の調和が図られた場づくり



取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 来訪者に守ってもらいたいルール及びその周知方法の検討 ● 私有地の景観に配慮した管理への協力依頼 ● 住民と事業者、施設が協力した美化作業の実施
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 四季を通じた地域の魅力発信の創出(イベント用の検討、実施) ● 迷惑駐車をさせないよう、駐車場整備



方針① 季節を感じられる場づくり 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●景観を阻害している既存施設や設備の修繕 ●自然や季節が体感できる情報(散策ルートやスポット等)の整理と発信 ●既存視点場や散策道の保全
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ●自然との調和に配慮した観光施設や設備の改修 ●修景伐採の実施 ●自然や四季を感じることができる施設の整備

方針② のんびり過ごすことができる場づくり 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●既存施設の周知、案内 ●既存施設の自然景観に配慮した改修(小規模) ●景観に配慮した、施設等のサインのルールづくり ●景観に配慮した、来訪者の利便性向上のための施設整備
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ●景観に配慮した施設等サインの更新 ●滞在が可能な温泉施設や場所の整備 ●自然を生かしたキャンプ場等の整備及び設備の改修(大規模)

5 エリア別施策「久野脇・塩郷地区」

<目指すべき景観像>

茶園と大井川の特徴を楽しむ 久野脇・塩郷地区

目標1


大井川の河流の雄大さを体感できる景観づくり

方針① 眺望を満喫できる場づくり 

	取組み
短期	<ul style="list-style-type: none">●安全に散策できる通路の確保●展望場及び駐車場等の整備についての検討【見込み角に配慮した眺望点の配置】
中長期	<ul style="list-style-type: none">●眺望をゆっくり楽しめる視点場の設置●駐車場及びトイレ、道路の拡幅等、必要な設備の整備

方針② 大井川の河流の雄大さを感じられる場づくり 

	取組み
短期	<ul style="list-style-type: none">●展望場の修景伐採【樹木等が眺望を妨げないように配慮する】●展望場の周知、案内サインの整備【眺望を遮らない・周辺景観に違和感を与えない】
中長期	<ul style="list-style-type: none">●展望場維持のための修景伐採●展望場までの道路等の維持管理

方針① 美しい茶園景観を楽しむことができる場づくり 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●眺望場所の修景伐採と整備【樹木等が眺望を妨げないように配慮する】 ●展望場の周知方法の検討及び巡回コースの策定 ●景観に配慮した案内サインの整備【眺望を遮らない・周辺景観に違和感を与えない】
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ●散策路での新たな視点場、休憩所等の整備 ●修景間伐の実施 ●茶業関連施設の塗装についての検討 ●今後の茶園景観維持の仕組みについての検討

方針② 地域での体験を楽しむことができる場づくり 

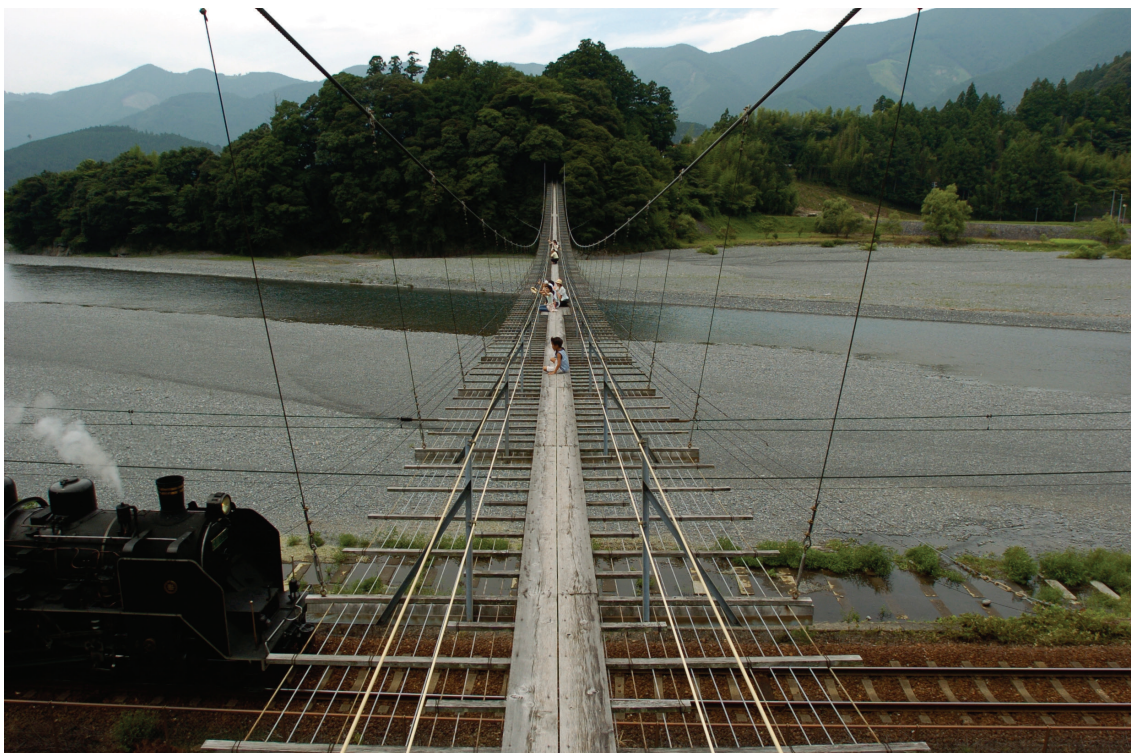
取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●緑茶カフェの実施や大根そばの活かし方の検討 ●私有地の景観に配慮した管理への協力依頼
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ●緑茶カフェや大根そばの提供方法の検討 ●花壇整備や花壇の維持管理体制の確立 ●建築物の集落や茶園と調和した形態意匠の検討

方針① 大井川を感じる事ができる場づくり 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●案内サインの整備【眺望を遮らない・周辺景観に違和感を与えない】 ●既存公園等の維持管理、整備 ●キャンプ場利用者への情報提供
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ●休憩所の整備 ●大井川に行くための通路の整備 ●キャンプ場施設の維持管理と利用者の利便性及び満足度の向上のための施設整備

方針② 吊り橋を楽しめる場づくり 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●駐車場の整備 ●駐車場から吊り橋までの安全な通路の確保 ●吊り橋に行くまでの通路の維持管理
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい視点場の検討、整備 ●吊り橋を楽しむための維持管理及び改修整備



6 エリア別施策「接岨地区」


<目指すべき景観像>

自然と人工物が調和する水辺の景観を体感できる 接岨地区

目標1

自然と人工物の調和を五感で体感できる景観

方針① 自然と人工物の織りなす

唯一無二の景観を楽しむことができる環境の整備 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存展望所の維持管理方法の検討、安全性の点検、整備 ● 既存案内看板の維持管理方法の検討、傷んだ看板の撤去及び更新 【屋外広告物やサインを設置する際には眺望を遮らない・周辺景観に違和感を与えないよう注意する】 ● 景観の魅力効果を効果的に発信する仕組みの検討 ● 展望所の利便性向上を目的とした設備(トイレ等)及び駐車場の新設・改修 【周辺の景観資源の眺めが阻害されないように、建物や工作物等の配置、形状を工夫する】 ● 【色彩及びデザインはそれ自体が目立つものとならないよう注意する】 ● 住民を対象とした環境に関心を持ってもらうための事業の実施
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の景観と調和する施設整備の推進 ● 施設管理に対する景観配慮への協力依頼と対応方法の協議 ● 案内サインの統一性の創出 ● 展望所での修景間伐の実施 ● 展望所に関する情報の効果的な発信 ● 魅力的な展望所の新設 ● 景観を維持するための住民組織の育成 ● 来訪者への観光マナーの周知啓発 ● 周辺観光施設における景観の改善、来訪者の利便性・満足度の向上のための整備及び改修

方針② パドルスポーツや散策などの

アクティビティを通じて自然を体感できる環境の整備

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 散策コースにおける危険箇所の確認及び補修 【法面・擁壁の構造及び形態は、できる限り周辺の景観と調和させる】 【安全性や機能性を確保できる必要最小限の構造により、できる限りすっきりとした形態意匠とする】 ● 来訪者や来訪予定者に向けたパドルスポーツや散策等のアクティビティに関する効果的な情報発信 ● アクティビティの体験希望者に対する受け入れ体制の構築及び強化
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 散策コース及び既存コース内休憩施設の新設 ● 既存散策コースの維持管理、再整備 ● 来訪者が気軽にアクティビティに参加できるハード環境の整備 ● 体験メニューの拡充と通年受け入れを可能とする環境整備

目標2

奥大井の自然に抱かれた温泉地を満喫できる景観

方針① 優れた泉質の温泉だけでなく、

併せて周囲の景観も楽しめる環境の整備

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 散策コースにおける既存看板の整理 【屋外広告物やサインを設置する際には眺望を遮らない・周辺景観に違和感を与えないよう注意する】 ● 老朽化した温泉施設の補修・更新 【周辺の景観資源の眺めが阻害されないように、建物や工作物等の配置、形状を工夫する】 ● 空き家、空き地及び耕作放棄地の景観維持に関する対策の検討
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 展望所へのアクセス道路の補修 ● 周囲の景観を楽しむための散策コースや休憩所の整備 ● 空き地や空き家を活用した店舗や休憩所の整備 ● 周辺観光施設における景観の改善、来訪者の利便性・満足度の向上のための整備及び改修

7 エリア別施策「尾呂久保地区」


<目指すべき景観像>

マウンテンスポーツのベース 山の暮らしを『体験』できる
尾呂久保地区

目標1

ウッドハウスおろくぼを核とした山の暮らしを「体験」できる景観

方針① 尾呂久保集落に日本の原風景を

保存、再現し、暮らしを「体験」できる景観づくり 

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ●「おろちの池」の管理方法の検討、安全性の点検、整備方針の確立 ●サイン計画を立て既存案内看板の維持管理の検討、傷んだ看板の撤去及び更新 【屋外広告物やサインを設置する際には眺望を遮らない・周辺景観と調和するよう配慮】 ●アクセス道路、集落内におけるビュースポットの洗い出し ●集落内に事業趣旨の説明、協力依頼 ●集落内の整備計画の樹立 【イメージを統一した建物や工作物等の配置、形状を工夫する】 【色彩及びデザインはそれ自体が目立つものとならないよう注意する】 ●「体験」プログラムの洗い出し
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の原風景の再現又は保存をし、暮らしを体験できる景観整備 【イメージは白川郷のような統一した建築物】 ●集落内にシンボルとして水車を設置 ●施設管理に対する景観配慮への協力依頼と対応方法の協議 ●サイン計画に基づいた案内サインの整備 ●ビュースポットでの景観間伐の実施 ●転換作物などの検討(お茶以外の農作物の検討)

方針② ウッドハウスを中心にアウトドアを感じる景観、施設整備

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 荒廃したテニスコート(築32年)跡地周辺の利活用について検討する ● 荒廃したアスレチック(築32年)跡地の利用について整備方針を決定する ● ミツ星天文台の運営について、運営団体(ミツ星アストロノミークラブ(MAC))と調整し施設についての維持管理の計画を立案する ● 緑の伝習館の有効活用について検討する ● 尾呂久保集落とウッドハウスをつなぐ導線整備について検討する ● 白羽山展望台(築年数不明)の整備計画を立案する ● 食の充実を図る
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ● ウッドハウス(築32年)、緑の伝習館(築31年)、ミツ星天文台(築20年)の建物の維持について計画を立案し、年次計画をもって整備を進める ● アスレチック跡地を利用したアクティビティに必要な整備を加える ● 白羽山展望台の整備

目標2

登山、ハイキング等のマウンテンアクティビティが楽しめる景観

方針① 手を入れるのは最小限に、

尾根伝いの眺望を最大限に魅せる景観整備

取組み	
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 大札山、山犬段へのアクセス道路の改修、整備(現在崩土により通行止め) ● 登山道、散策コースの点検、周辺施設の整備計画の策定 【サイン計画を策定し、計画に沿った整備を進める】 ● ルート上のビューポイントの確認、新たなビューポイントの発掘 【極力自然に手を入れないことを前提に進める】 ● 山犬段小屋(築25年)の整備計画の策定 【建替、改築の判断と、今後の維持管理計画を含む】
中長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 山犬段小屋の整備【建替、改築の判断と、今後の維持管理計画を含む】 ● ルート上の景観伐採(年次計画をもって整備)

1 計画の推進体制

計画の推進にあたっては、国や県、観光協会をはじめとする関係機関、地域や町内の事業所等との連携を図るとともに、庁内の関係各課の連携を強化し、横断的かつ重層的な施策展開を図っていきます。観光施策の進行にあたっては行政だけではなく、地域住民や地域における様々な関係機関の参画が必要となることから、様々な主体が参画できるような環境を整備します。

2 進行管理

計画の点検・評価にあたっては、庁内関係各課で構成される会議や委員会等において施策の進捗状況を検証し、改善する仕組み(PDCAサイクル)を確立し、効率的・効果的に計画を推進していきます。

3 災害時・緊急時の対応

災害や感染症の流行等、災害時や緊急時においては、町が出す方針に従って計画の推進を図ります。

第2期 川根本町観光戦略プラン
令和5年7月

発行：川根本町 観光交流課

住所：〒428-0411

静岡県榛原郡川根本町千頭1183-1

TEL:0547-58-7077